

△1 講 重職者 3 時代—使徒を生かすこと (ペテローパウロ) 「私を御座化」	△2 講 産業を 70 か所御座化しなさい(使 2:14-21)	△3 講 教会の働きを御座化しなさい(教会—伝道大教区、世界教区)
みなさんは世界を抱いた人々(使 1:3-8)だとおっしゃった。それなら、初代教会は勝利したが、なぜ私たちは良くできないのかをはやくキャッチすべきだ。聖書に出てくる重職者 3 時代を見つけて味わわなければならない。第 1 時代が「私を御座化」することで、使徒を生かすことだ。みなさんが答えを受ければ終わりで。 □序論_99.9%を拒否するべきなのに、神様のことを見たこと 1. イテロ 2. オバデヤ 3. ダニエル 4. 初代教会 5. パウロを助けた人々 △条件がよくなかったが、みことばを契約として与えられたので、使徒を生かすことにいのちをかけた □本論_私を御座化しなければならないが、どのようにすればよいのか 1. 御座化の始まり 1) 植えられたことを捨てるべき —復活以前にイエス様がなされたメッセージ (1) マタ 5 章—本当の祝福 (2) マタ 13 章—たとえ (3) マタ 16 章—捨てるべきこと (4) マタ 17 章—捨てること (5) 復活メッセージ—天と地の権威であなたとともに、ただ 2) このとき、三位一体の神様と 5 力、9 セットティング、3 時代を生かす御座の祝福が臨む。 3) 味わいなさい— 24(使 1:8 吸うとき、三位一体の神様と 5 力、9 セットティング、3 時代が私に臨むように/吐くとき、重要なことと思いつく人)にこの祝福を伝達する) 2. 御座化の目標 1) ペテロを生かした (1) 使 1:14 「祈りに専念」 (2) 使 2:9-11 重職者産業人が起きた △これを(本論 1) 祈れば本部、講壇、現場メッセージがぴったり合うようになって、答えがはっきりとくる。 (3) 使 6:1-7 現場を生かす重職者 (4) 使 11:19 使徒がつかまえられたとき、一つになった重職者 (5) 使 12:1-25 問題=御座の目標成就 2) パウロを生かした(使 16-19 章、ロマ 16 章) 3) 副教役者を生かした(ロマ 16:23) 3. 御座化の答え 1) 産業が主のしもべを生かすプラットフォーム 2) わざわい時代を止める物見の塔 3) 神様と全世界を疎通するアンテナ □結論 1. 助ける人、同労者、家主の答え—みなさんの産業に世界 237 の光が臨む。 2. 味わいなさい(本論 1)。待ちなさい(御国)。挑戦しなさい(使 1:8)。 3. 祈りのリズムだけ見つけ出しなさい。	神様は重職者を呼ばれたとき、すでに世界を抱いた人(使 1:3-8)になるように呼ばれた。 ・重職者の第 2 時代—ルカ 10:10-20(70 人をたてて現場を見せた)、マタ 28:16-20(70 人の祝福を教えるようにしなさい) →使 2:41(3 千弟子)、使 4:4(5 千弟子)、使 11:19(大ぜいの弟子) ・神様はこの働きをするようにみなさんの「産業を御座化」される。すべての祈りをここにオールインしなさい。「70 か所弟子が起きますように。私の産業が 70 か所御座化、世界化されますように」 □序論_至急な理由 1. ネフィリムが 2. ネフィリム産業を作って 3. わざわい時代が来た。「三位一体の神様の 5 力が私に臨みますように。9 つがセッティングされますように。3 時代が私にセッティングされますように。私の産業が 70 地域を生かしますように」これだけ祈りなさい。 □本論 1. 年に一度は 70 人弟子が始まるほど御座化に集中しなさい(使 1:14) —元旦祈禱会 1) カルバリの丘(使 1:1) —イエス様が終わらせたが、私にあるのか。それが始まりだ。 2) オリーブ山(使 1:3) —ただ神の国のことを祈り 3) マルコの屋上の間(使 1:8) —証拠に集中 2. これを毎週しなさい(使 2:9-11、使 2:42) —御座化の産業 1) ユダヤ人、ローマ超越 2) 講壇メッセージがみなさんの現場と産業に連結される。 3) 講壇+本部メッセージ+現場祈り→大きい流れが見える(使 2:17-18) 3. この祝福が毎日変わる。 1) みことばと現実が合う(3 千弟子) 2) みことばと経済が合う(光の経済、使 2:43-45) 3) 産業が伝道と一致する(使 2:46-47) △絶対計画を見つけない。絶対旅程を行かなければならない。絶対目標が重要だ。 □結論(伝道学)_問題、葛藤、危機—70 人の門を開ける最も良い神様の方法 △時代を動かした重職者は危機に挑戦した。問題を問題にしないで答えを見つけた。葛藤の前ではやく更新したのだ。危機は機会であることを味わったのだ。 1. 問題、葛藤、危機は始まりだ—迫害の中に 70 人弟子を見つける答えが入っている。 1) マタ 12:1-47 2) マタ 13:1-13 3) マタ 16:13-20 4) マタ 17:1-9 5) マタ 28:1-15 2. 危機は答えだ— 70 人弟子運動が隠されている。 1) 使 1:1-14 契約+マルコの屋上の間で 2) 使 11:19 アンテオケ教会 3) 使 12:1-25 祈り 3. 危機には未来が入っている 1) 使 11:25-26 大ぜいの弟子 2) 使 13 章宣教の門 3) 使 16 章マケドニアへ 4) 使 19:21 ローマも見なければならない 5) ロマ 15:23 250 年間迫害でなくローマ征服	・マタ 28:16-20(方法—あらゆる国の人々を弟子としなさい、内容—天と地のすべての権威とともに)、マコ 16:15-20(権威、いやし、御座に座った主がともに)、ヨハ 21:15-18(小羊を飼いなさい)、使 1:1, 3-8(オリーブ山で世界福音化を語られた)、使 19:21(ローマまで行った) ・重職者のみなさんは世界を抱いた人々だ。 ・重職者の第 3 時代—「教会の働きを御座化しなさい」みなさんの教会が伝道大教区に、世界教区に行く、その中にみなさんがいるならば、みなさんの人生と産業が世界化される。 □序論_三つのことが分かれれば可能だ。イエス様が約束されたことは御座と証人しかない。 1. 教会 1) 御座の影(創 13:18、創 22:1-19、創 28:10-14、創 37:1-11、三つの祭りと幕屋、ミツバ運動と神殿、ダニ 6:10、使 2:1-47) 2) 御座の祝福を味わう所(使 1:3, 8) 3) 御座の祝福を伝達する所(使 1:8) 2. 祈り—三位一体の神様と 5 力、御座の祝福である 9 つのセッティング、3 時代を味わうこと 3. いやしが、すなわちサミット—呼吸と祈りで祈りのリズム、霊的リズムを見つけない。これがいいやしだ。 □結論_伝達=とりなし祈り ・吸うとき—三位一体の神様、9 セットティング、3 時代が私に臨むように ・吐くとき—みなさん、思い出す人、最も重要なことに集中して祈って伝達 1. 私を御座化するプラットフォームの作品を作りなさい。 2. 職業を御座化させて世界を物見の塔の作品として作りなさい。 3. 教会を御座化させるのに 3 時代の作品を作りなさい。 □本論_すると(序論、結論を味わえば)必ず三つのことがくる。 1. 隠された奥義—隠された集中(使 2:1-47) →他の人が見えないことを見るようにされる。 1) 使 2:17-18 将来のこと、幻、夢—隠されたことが出てくる。 2) 問題(迫害) —迫害は伝道の旅程 3) 答え(計画) —答えの中に神様の計画 2. みなさんにだけ与えられる制限された奥義—重職者の祝福(使 6:1-7) 1) 聖霊の満たし 2) 信仰の満たし 3) 知恵の満たし 3. 神様が与えられるみなさんだけできることに選択された集中—重職者の証拠(ロマ 16:1-27) 1) 裏面契約 2) ロマ 16:20 サタンが足で踏み砕かれる 3) ロマ 16:25-27 世々にわたって長い間隠されていたことを、とこしえにあるように与えられる

12 月 03 ~ 05 日 週間祈りカード

聖日 1 部礼拝 答えを超える人々 (ダニ 1:8-9)	Remnant 礼拝 もしそうでなくても (ダニ 3:8-18)	聖日 2 部礼拝 / 神殿建築献身礼拝 私の内の神殿が完成しなければ (ダニ 6:10)
1. 信徒の三つの悩みと確実にして超えて行くこと 1) 本が大変だったし、今でも大変だ→この時間はすべての答えが準備される最も重要な時間 2) 私が大変なときに助けてくれる人がいない→神様のみことばから答えを見つけるべき 3) 祈りをどのようにするか分からない→祈りがセッティング(setting)されるべき。答えがくれば力が生じ始める 2. 祈り始めれば「あらかじめ」知らせてくださる神様—ダニエルはここに捕虜になったのが世界宣教であることをあらかじめ知る。神様の民に起こるすべてのことと問題は世界宣教だ。 □序論_祈る以前にしなければならない三つのこと(心を定めて) 1. 神様のみこころを正確に知っていること(RT 7 人の勝利理由) 2. 答えではないことを知っていること—世界掌握したバビロン、総理(出世)になったのが答えではない。神様が私をここに送ったのは宣教地に送ったことを知っていたダニエル 3. まことの答えが何か知っていること—三位一体の神様がともにおられる証拠、御座の祝福で 9 セッティング(setting)されること、教会と神殿が何かを知っていること、王 4 名に神様が生きておられてともにおられる答えを与えること、これが本当の答え □本論_答えを超えるダニエルの三つの理由 1. ダニエルは過去の理由を知る者—過去に入っているものすごいメッセージを見つけるべき イスラエルが霊的に力がなかったという事実を知り、神殿破壊、王と人材が捕虜になった理由を知って、その中で「証拠を見せる。証人として立つ」と契約を握ったダニエル △私の過去を見ながら「証人として立つ」とすれば、必ず答え。過去は忘れたり傷になってはならず、完全に土台にしなさなければならない。 2. ダニエルは今日の理由を知る者 1) 神様の民が福音をのがすと捕虜となったのは当然のこと(当然性) 2) それゆえ、私をここに立てられたのだな(必然性) 3) それなら、私はここで証拠を見せる(絶対性) △「私があるここが宣教地!」この契約だけ握れば答えはついてきて、「私は今日ここで、霊的サミットになる」これが今日の理由だ。 3. ダニエルは明日の理由を知る者—私はこの地域に派遣された一般信徒宣教師、現場宣教師、いやす宣教師 □結論_福音を知る者は祈りが分かる。祈りは創造主の三位一体の神様のことを味わう再創造 1. 心を定めたという意味—ダニ 1:8-9(祈り)、ダニ 6:10(味わう)、ダニ 10:10-20(時代問題を解決する挑戦) 2. ダニエルの祈りを始めて回復すべき—御座を動かす三位一体の神様の働き、御座の祝福 9 つがこの祈りの中に。教会は御座の影なので、祈りを回復すれば礼拝が完全に変わる。 3. 一人で孤独なとき、一番重要なことを見つけ出して祈るべき。誰も助けてくれないと考える Remnant は、神様のみことばを正確に握るべき。このとき、神様は未信者を通して働かれる。すべての Remnant は、24 の祝福がきた。新しい恵みが臨むべき。	△準備された Remnant—シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは準備された Remnant であった。バビロンは彼らを人材として見て捕まえて行ったわけだが、神様が準備されたことはバビロンに弟子に入れたのだ。 バビロン—人材として 神様—バビロンに弟子として △「もしそうでなくても」—これが Remnant の準備された信仰 □序論_幼児から大学までサミットに向けた準備をしろ。 1. 未来キャンパー子どもたちが未来を知らなければならない。 2. タラントキャンパー未来を知ればタラントを見つけなければならない 3. 祈りキャンパー上の二つになったとき、祈りが何か知らせなければならない □本論_理由三つ 1. 既成世代の危機「止める答え」を準備しなければならない。 1) 霊的な力をなくす—ゼデキヤ王が力を失ったからバビロンがきて目をくり抜いて引っ張っていく 2) 実力が遅れる—それゆえ、強大国が捕まえに来たのだ。 3) 教会が閉鎖する—神殿を破壊した。 2. 世の中に出て行く準備をしなければならない。 1) 強大国はともて大きな力を持っている。 2) 目に見えないように強い者は横暴を働かせる。 3) そこに捕虜になったのだ。 3. すべての人に霊的危機がくる。—このとき「証人」として立たなければならない。 1) 偶像国家—すべての偶像国家はいつでも同じように「偶像神殿」を作る 2) 契約を現わし始め—苦しみが来るのは契約を現わすため。だまされてはならない。 3) 証人になること—火の中に入れたが死なない。証人になって王の心を変えた △これを準備しなさい。私たちに与えられたことなので一つも難しくない。できない理由は信じないので、できない。信じれば働きが起きる。目に見えないので、その価値が分からない。 □結論_Remnant の信仰告白 △「主が必ず救い出してください。もしそうでなくても」—常に私たちが持っていなければならない信仰告白だ。生きて大丈夫で、死んでも大丈夫なのだ。 △常に答えは三つでくる。 1. 即、答え 2. 以降の答え—時間がたくさん過ぎて来る答えもある。 3. 無応答—無応答も答えだ。必要ないことは与えられないのだ。	△神殿は建物だ。そこで答えを味わおうとするなら、私の内に神殿が先に完成されなければならない。 □序論_死ぬと知っていても △神様の願いは何か 1. 異邦人の庭— 237 センターの中に「30 個の教会堂」→ 30 個の言語で世界が通じるように作るべき 2. 祈りの庭—「いやし」するように作ってあげなければならない。 3. 子どもたちの庭—重職者、Remnant、副教役者は「70 人弟子をたてる運動」をしなければならない。 △この三つがなくて、神様はずっと神殿を崩されたのだ。これについてずっと祈らなければならない。 △死ぬと知っていても→エルサレムに向かって三度ずつ祈ったのは、すべてを賭けたということ、この祈りは世界を動かして、まことの平安、まことの力を味わった。一言で、この祈りは御座の祝福を味わったのだ □本論 1. 窓を開けて—私の中に霊的なプラットフォームが作られたのだ。 霊的プラットフォーム 1) 三位一体の神様に向かう答えが私に臨むこと 2) このとき 5 力が生じる 3) 刻印、根、体質の中に完全に御座の祝福が臨む 2. ひざまずいて—私の中に教会を通した霊的見張り人になる、すばらしい物見の塔を作ったのだ 霊的見張り人 1) 3 超越の答え 2) 3 いのち運動 3) 3 空前絶後 3. 感謝して—神様が私に機会を与えられて、すばらしい使命を与えられたことに感謝した。 霊的アンテナ 1) 牧会者が生かされる教会 2) 重職者が生かされる教会 3) Remnant が生かされる教会、この教会がまことの教会だ。 □結論_いつものように(本来していたとおり) 1. 捕虜根性から完全に抜け出させることだ。 2. 次世代に教会が何か、神殿が何か知らせなければならない。 1) 未来キャンパー 2) タラントキャンパー 3) 祈りキャンパー—祈りが分かれば終わりだ。世の中こみな譲歩しても大丈夫だ。 3. 237 多民族— 237 多民族を呼んでこの三つを教えなければならない。